



Title	開会あいさつ
Author(s)	梅田, 靖
Citation	シンポジウム「都市・農村の地域連携を基礎とした低炭素社会のエコデザイン」 = Symposium on EcoDesign of Low Carbon Society Based on Regional Partnership Between Urban and Rural Areas. 2010年11月1日(月). 北海道大学学術交流会館, 札幌市.
Issue Date	2010-11-01
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/44273">http://hdl.handle.net/2115/44273</a>
Type	conference presentation
File Information	umeda.pdf



[Instructions for use](#)

環境省地球環境研究総合推進費 E-0804 (2008-2010年度)  
大阪大学・北海道大学・立命館大学

# 都市・農村の地域連携を基礎とした 低炭素社会のエコデザイン

代表：大阪大学工学研究科

教授 梅田 靖

# 本研究プロジェクトの背景

---

- **背景**

低炭素社会実現のための一次産業の役割、潜在的可能性、と同時に、

- 里山・農村、農林水産業の復興(日本)
- 都市・農村間の格差是正、都市公害対策など(中国)

- **目的**

エネルギー・物質の地域循環を促進する**都市・農村の地域連携**による低炭素化、農村活性化への道筋を示す

- 地域レベルでの連携ネットワークをデザインする
- さらに、アジアにおける連携、国際互惠の在り方を提言する

# 本研究プロジェクトの背景

---

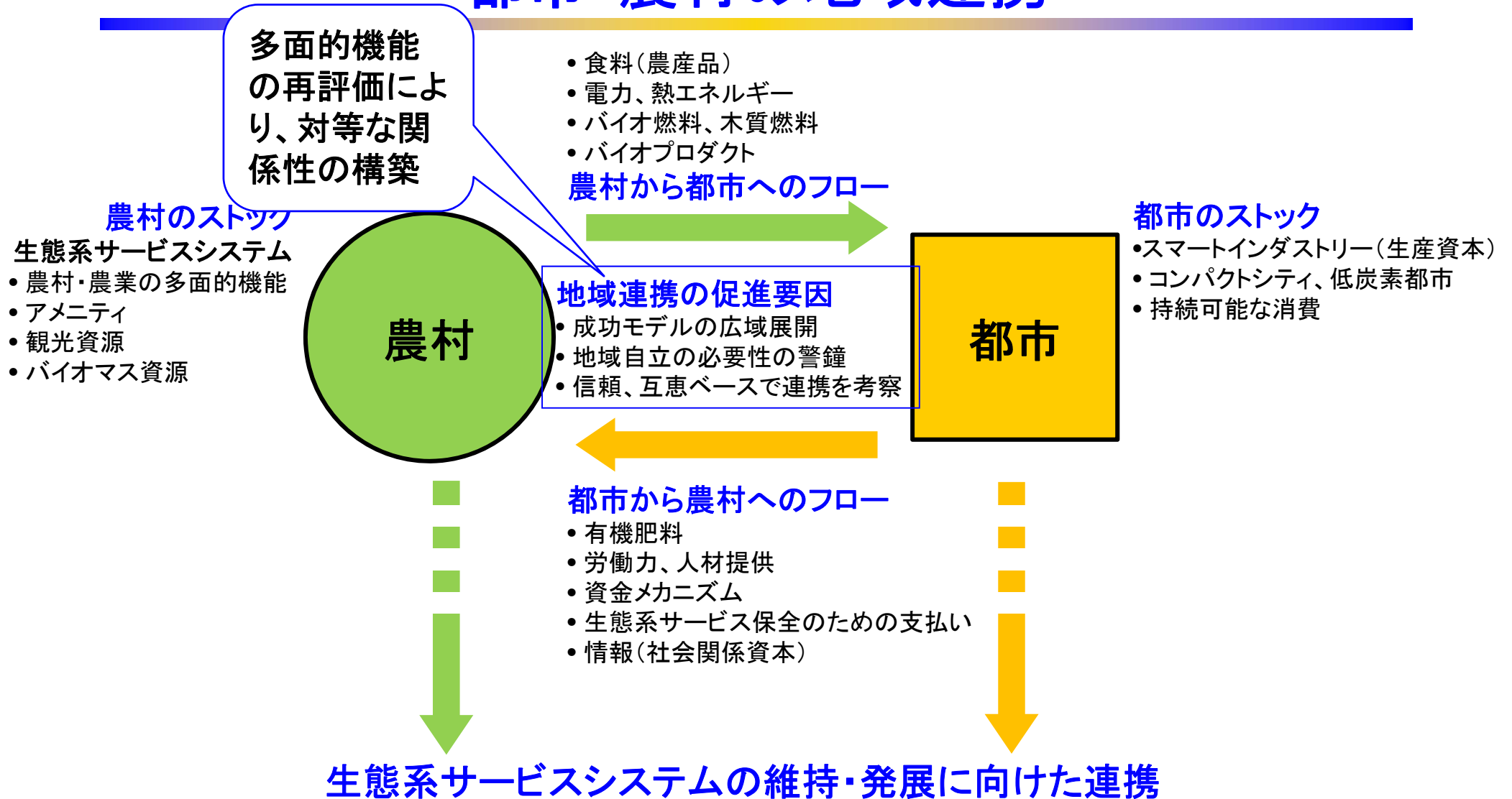
- 都市・農村の地域連携

食料・エネルギーの確保、地方分権による地域多様性・地域復興などの観点から、地域のサステナビリティ向上が必要

農村の多面的機能の再評価により、都市に対する相対的な関係性が対等となり、互いに豊かな暮らしを享受できるようになることが重要

望むべき将来社会の構築に向けて、都市・農村間の多様なネットワークのデザインが求められる

# 都市・農村の地域連携



# プロジェクトの基本構成

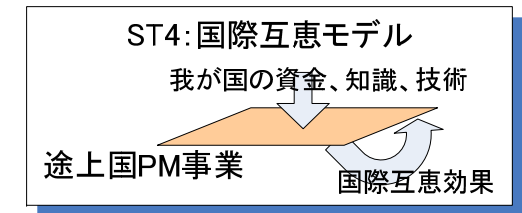
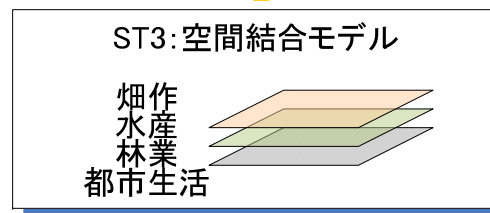
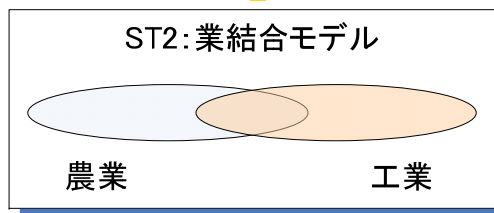
低炭素社会における都市・農村の地域連携の在り方を提言



- 現地調査結果の数理モデル化による**トップダウンアプローチ**
  - － 都市・農村連携クラスターの成立条件
  - － 全国展開、アジア展開の潜在的可能性を試算

ST1: 枠組、指標及びシナリオ

- **パイロットモデル地域、パイロットモデル事業のフィールドワーク、現地調査によるボトムアップアプローチ**
  - － 社会的側面も調査



# パイロットモデル地域／事業

サブテーマ2 呼和浩特市  
河南省靈宝市(黄土高原)  
農工連携による自然資本を生かした  
低炭素化産業の創出  
一石五鳥モデル

サブテーマ3  
北海道  
都市—農村空間結合による低炭素  
化クラスター形成

中国  
China

200 km  
200 マイル

©2009 Google - 地図データ ©2009 AND, Geocentre Consulting, NFGIS, ZENRIN, Europa Technologies - 利用規約



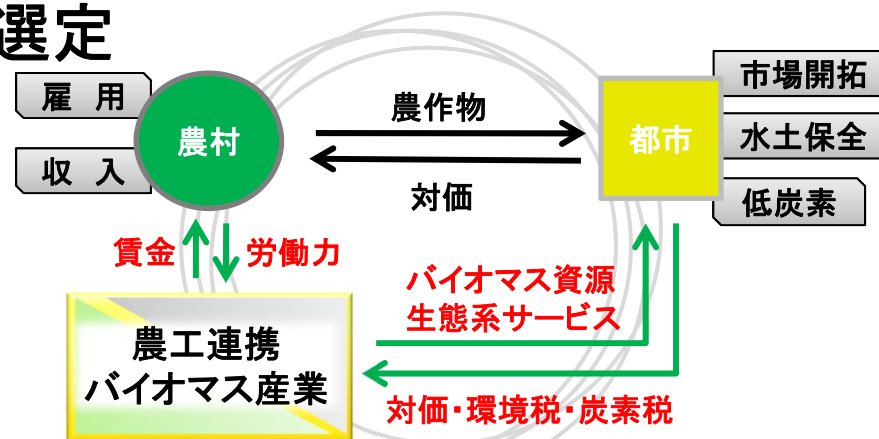
## サブテーマ4

### 浙江省湖州市(長江デルタ圏)

広域低炭素化社会実現のためのエネルギー・資源システムの  
改変と政策的実証研究

# サブテーマ(2): 農工連携による自然資本を生かした低炭素化産業の創出(業結合型モデル)

1. 農工連携現地生産のプロセスのデザイン
2. パイロットモデル事業による多様な便益のポテンシャル評価
3. 地域に適合する最適植物種の探索と選定



## トチュウ植林プロジェクト「一石五鳥」

- ① トチュウバイオマス(選定枝、抽出残渣)のエネルギー利用による化石燃料代替
- ② トチュウの成長と土壌炭素蓄積による大気二酸化炭素固定
- ③ トチュウ林による砂漠化防止と水土保全
- ④ 伝統商品(茶、医薬品)に加え、高付加価値機能性物質(ゴム、オイル)抽出、葉の飼料化によるトチュウバイオマス産業創出
- ⑤ 地域経済発展、雇用創出、農民QOL向上、再投資による持続的環境改善